

Hyogo Performing Arts Center Opera 2021

The MERRY WIDOW

Yutaka Sado, Artistic Director

Music by Franz Lehár Libretto by Victor Léon and Leo Stein

2008年「メリー・ウィドウ」カーテンコール

2020年、開館15周年という記念の年ながら、新型コロナウイルスの影響により多くの公演が中止となり、残念ながらプロデュースオペラ「ラ・ボエーム」も2022年へと延期となりました。しかし7月以降、試行錯誤を重ねながらもお客様をお迎えできるようになり、改めて音楽を演奏し、皆様と共感する喜びを実感した一年でもありました。

まだ落ち着いた日々が続きますが、こういうときだからこそ、2021年は底抜けに楽しいオペレッタをお贈りします。びっくり箱のような楽しみが詰め込まれた「メリー・ウィドウ」に、たくさんのお客様の笑顔と拍手が溢れた13年前。本当に兵庫らしい舞台ができた、確かな手ごたえを感じたことは、このプロデュースオペラシリーズにとって大きな財産となり、私自身も深く印象に残っています。

この夏、さらにパワーアップした、芸術文化センターならではの喜びと明るさの溢れた舞台を作りたいと思います。

— 佐渡 裕

【全8公演】
2021 7.16 (金) 17 (土) 18 (日) 20 (火) 21 (水) 22 (木・祝) 24 (土) 25 (日)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 各日2:00PM開演 [1:00PM開場] 上演予定時間: 約2時間45分 (休憩1回含む)
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分) A12,000円 B9,000円 C7,000円 D5,000円 E3,000円 (消費税込 全席指定)

ご予約お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日)

【発売日 B・C・D・E席 3/12 (金) | A席 3/13 (土)】

インターネット予約 http://www.gcenter-hyogo.jp インターネット予約 兵庫県 メリー 検索

特設ウェブサイト2月中旬公開予定

■チケットぴあ http://pia.jp/t/ ■ローソンチケット http://l-tike.com ■イープラス http://eplus.jp

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター 3/14 (日)より、残席がある場合のみ

【ご注意】※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。※開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくことや、立ち見となる場合がございます。時間に余裕を持ってお越しください。※場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。※本公演の字幕は舞台の両脇に設置されます。一部見にくい席がある場合がありますが、あらかじめご了承ください。※公演中止の場合を除き、他の日時・席種への変更及び払い戻しはいたしません。

【主催】兵庫県、兵庫県立芸術文化センター (制作)

文化力
POWER OF CULTURE

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可) ※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前に
ウェブサイト掲載の
(当センターを
ご利用のお客様へ)を
ご確認ください



http://www.gcenter-hyogo.jp

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、http://www.gcenter-hyogo.jp

便利なアクセス!!

大阪 梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ (連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



2万人が喝采! 伝説の“メリー”改訂新制作 夢のオペレッタ開宴!

The Franz Lehár
conductor YUTAKA SADO
stage director ISAO HIROWATARI

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021

喜歌劇 メリー・ウィドウ

全3幕 / 日本語上演・日本語字幕付 / 改訂新制作



お招きしましょう
ハッピーエンディング



兵庫県立
芸術文化センター

【音楽】 フランツ・レハール 【台本】 ヴィクトル・レオン / レオ・シュタイン 【指揮】 佐渡 裕 【演出】 広渡 勲

2021 7.16 (金) 17 (土) 18 (日) 20 (火) 21 (水) 22 (木・祝) 24 (土) 25 (日) 【全8公演】
各日2:00PM開演 [1:00PM開場] 上演予定時間 2時間45分 (休憩1回含む)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール http://www.gcenter-hyogo.jp

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日)

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター (制作)

パリ、花の“ベル・エポック” 美しき未亡人の恋と遺産は誰の手に?

「唇は黙しても」「ヴィリアの歌」「女・女・女のマーチ」
 甘いワルツと陽気なカンカンが誘う
 ロマンティック・コメディ

MERRY WIDOW

The Franz Lehár



2021年の佐渡裕芸術監督プロデュースオペラは、
 “オペレッタ銀の時代”を彩るレハールの「メリー・ウィドウ」。
 2008年に上演し大きな反響を呼んだ作品が時を経て、
 とびきりの楽しさはそのままに、新たなキャストで贈る
 “改訂新制作”を果たします!

物語の舞台は、経済的、文化的に華開いた1900年頃
 のパリ。思わず口ずさみたくなるような美しいメロディが
 散りばめられた煌びやかなコメディは、ウィーンで初演さ
 れるや500回も連続上演されるほどの人気オペレッタと
 なり、今なお人々を魅了し続けています。生き活きとした

ダンスナンバーも随所に盛り込まれ、19世紀にウィーン
 からヨーロッパへと広まったワルツや、パリで流行した
 フレンチ・カンカン、東欧のエキゾチズム漂う舞曲などが
 舞台を賑わします。そして観るものをどこまでも笑いに



2008年の公演より

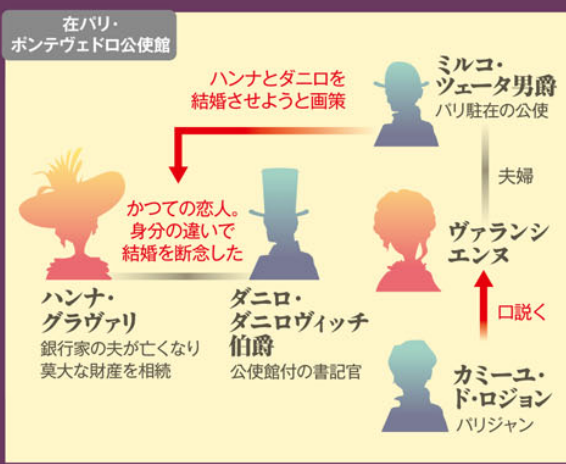
包む風刺の数々! のちに
 アメリカへ渡りミュージカル
 へと展開した、総合的エン
 ターテインメント=オペレッタの、
 まさに金字塔というべき名作
 です!

底抜けに楽しい! “佐渡メリー”がパワーアップ?!

兵庫県立芸術文化センターの「メリー・ウィドウ」、その特徴は
 なんといいまでも関西らしい徹底したエンターテインメント性。阪神
 間文化の大先輩・宝塚歌劇風の演出や、お笑いの要素を「これでも
 か」と盛り込んだ“兵庫でしか上演できないオペレッタ”で、
 佐渡裕芸術監督も深い思い入れを持つ記念碑的な作品です!
 その立役者はエンターテインメント業界を知り尽くした**演出家・**
広渡 勲。そして、ロンドン生まれ・ドイツで活躍するデザイナー
サイモン・ホルズワースによる**お酒落な舞台装置**、イタリアの
スティーヴ・アルメリーギの手掛けた当時の雰囲気そのままの**豪華**
な衣裳に、たちまちハートが奪われます!

キャスティングも豪華絢爛! ヒロイン・ハンナには、歌唱力も華も
 備えた2人のプリマドンナ。初登場、いち早く聴きたい次代の
 スター**高野百合絵**と、いまや日本を代表するソプラノ**並河寿美**の
 ダブルキャスト! 相手役のダニロには、進境著しい注目のバリトン
黒田祐貴、2008年の上演で同役を好演した**大山大輔**という
 この上ない2組! 絶妙なアンサンブルを繰り広げる歌手陣は、
 おなじみの面々からフレッシュな逸材まで充実の布陣。さらに、
 上方落語の重鎮・**桂文枝**、宝塚歌劇団元トップスター**香寿たつき**
 が一層の華を添えます。
 新型コロナウイルスの感染対策も徹底しながら、最高のエンター
 テイメントを刷新する2021年の挑戦。これまでの15年にわたる
 プロデュースオペラの実績、近年の日本オペラ界の躍進の上に、
 “いまが旬のメリー・ウィドウ”を新しく創りあげます!

STORY パリ。東欧の小国ボンテヴェードロの公使館では、国王の誕生日を
 祝す夜会の中、公使のツェータ男爵が気を揉んでいる。莫大な財産
 を相続した未亡人ハンナ・グラヴァリがもし外国人と結婚すれば、財産が国外へ
 流れ、国は破産してしまうからだ。ツェータ男爵は、彼女を昔の恋人ダニロと元の
 鞘に収めることで、財産流出を防ごうと画策。再会したハンナとダニロだが意地を
 張り、なかなか歩み寄れない。
 翌日のハンナ邸での夜会。次第に良い雰囲気になるハンナとダニロ。一方、
 ツェータ男爵の妻ヴァランシエンヌは、カミーユと密会中。男爵に踏み込まれる寸
 前で、ハンナがヴァランシエンヌと入れ替わり登場、そしてなんとカミーユとの
 婚約を発表してしまう。
 国家の危機か、大団円か?! 大人の恋とお金をめぐる騒動の結末は…?



【指揮】	佐渡 裕 Yutaka SADO, conductor	
【演出・日本語台本】	広渡 勲 Isao HIROWATARI, stage director and Japanese libretto	
【装置】	サイモン・ホルズワース Simon HOLDSWORTH, set designer	
【衣裳】	スティーヴ・アルメリーギ Steve ALMERIGHI, costume designer	
【照明】	沢田祐二 Yuji SAWADA, lighting designer	
【振付】	川西清彦 Kiyohiko KAWANISHI, choreographer	
【合唱指揮】	矢澤定明 Sadaaki YAZAWA, chorusmaster	
【訳詞】	森島英子 Eiko MORISHIMA, Japanese lyrics	

【合唱】	ひょうごプロデュースオペラ合唱団 The Produce Opera Chorus, Hyogo	【管弦楽】	兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra
------	---	-------	--

【衣裳補】	小栗菜代子 Nayoko OGURI, associate costume designer
【演出助手】	塚塚励生 Leo IIZUKA, assistant stage director
【振付助手】	大畑浩恵 Hiroe OHATA, assistant choreographer
【映像】	三浦景士 Keiji MIURA, video designer
【舞台監督】	幸泉浩司 Hiroshi KOIZUMI, stage manager
【プロデューサー】	小栗哲家 Tetsuya OGURI, producer
【制作】	兵庫県立芸術文化センター production by Hyogo Performing Arts Center



CAST

7月16/18
 21/24

7月17/20
 22/25

ハンナ・グラヴァリ (大富豪の未亡人) Hanna Glawari	ミルコ・ツェータ男爵 (ボンテヴェードロ公使) Baron Mirko Zeta	ヴァランシエンヌ (ツェータの妻) Valencienne	ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵 (公使館付の書記官) Count Danilo Danilovitch	カミーユ・ドロジョン (領事) Camille de Rosillon	カスカーダ子爵 (バリジャン) Viscount Cascada	ラウル・ド・サンブリオッシュ (バリジャン) Raoul de St-Brieche	ボグダノヴィッチ (領事) Bogdanowitsch	シルヴィアーヌ (領事の妻) Sylviane	ニエグシュ (公使館書記) Niegus	プリチッチ (退役大佐) Pritschitch	プラスコヴィア (プリチッチの妻) Praskowia	クロモウ (公使館参事) Kromow	オルガ (クロモウの妻) Olga	エマニュエル Emmanuelle
														
														

2008年の公演より